

2025 年度スタートアップ教育支援プログラム「地動計画」スターティングプログラム Q&A

Q01：プログラム期間中につくるのは「モノ」でないといけませんか？

A01：モノに限定していません。何をつくるかについては基本的に制限も設けていませんので、サービス、アプリ、イベント、ゲームなど、プロダクトも含めて自由に取り組んでください。

Q02：プロトタイプ制作費の補助 10 万円で購入できないものはありますか？

A02：以下の 3 つについては購入することができません。

- 先払いが必要なもの
 - 海外販売サイトでのみ購入可能なもの
 - プログラム実施期間内での納品が困難なもの
- 物品購入については、参加者に詳しく説明します。

Q03：成果報告会（文化祭）は、地動計画のプログラムに 2 日間とも終日参加しないといけないですか？

A03：成果報告会は各キャンパスで 1 日ずつ開催し、参加者は所属するキャンパスでの報告会において報告(展示)をしていただく予定です(希望者は両キャンパスでの展示も可)。また当日も、コアタイム(必ず参加してほしい時間帯)を 2 時間程度に設定する予定です。それ以外の時間は、自由に文化祭に参加できます。

Q04：自分が持ち込んだアイデアで活動してもいいですか？

A04：もちろん OK です。「地動計画」では基本的に個人単位で開発をしていきますので、自分がやりたいことを持ち込んだり、プログラム参加を通じて発想したことに取り組んでください。

Q05：グループでの応募はできますか？

A05：基本的には個人単位での参加となります。友人・知人を協力者やチームメンバーに巻き込んで日々の開発を進めることは OK です。ただし、地動計画のプログラム日程に参加できるのは、参加学生のみとなります。

Q06：つくりたいものはあるのですが、つくるにあたって技術面で不安があります。参加にあたってどのように考えたらいいですか？

A06：まず、つくりながら必要な技術やスキルを学習するという考え方があります。実践は学習をより加速させやすい側面があります。また、自分にできないこと、足りない技術やスキルについては、仲間の力や助けを借りるという考え方もあります。どんな起業家も自分一人ですべてのことを成し遂げたわけではありません。それに倣い、必要な技術やスキルを持つ人の助けを借りに行くことも大いに OK です(第 1 期のメンバーもそうしていました)。もちろん、サポートしてくださる先生に相談することも有効だと思います。

そして重要なのは、このプログラムで開発を進めるのは基本的にはプロトタイプを想定しているということです。プロトタイプは完成品ではありませんので、粗削りで OK です。いまの自分に開発できる範囲や、自分が扱える素材や材料、その他リソースをうまく活用して、他者が手にとり、体験できるカタチにしていきましょう。

Q07：8 月の合宿ではどんなことをやりますか？

A07：主な実施内容は以下を予定しています。

- ・自分のつくりたいものについて、起業家やクリエイターからの助言やフィードバックを得る。
- ・プロトタイプ開発に必要な情報や助けを得るためのフィールドワーク
- ・プロトタイプの集中開発(コーディネーターも適宜サポートします) etc.

Q08：1年生なので、活動に不安があります。

A08：これまで参加した1年生は、全員それぞれのプロトタイプを完成させ、成果報告会で発表をしています。周りからのサポートもありますので安心してください。

Q09：授業や試験に支障はないでしょうか？

A09：スターティングコースは主に夏休みから11月初旬にかけて実施しますが、後期の授業が始まると、授業に支障のない土曜日、放課後の時間帯に活動し、オンラインも活用するなど、学業との両立は十分考慮されたスケジュールとなっています。